

セラク、東京大学大学院医学系研究科と共同で 社会連携講座「デジタルメンタルヘルス講座」を設置

IT ソリューションの株式会社セラク（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮崎 龍己、東証一部上場(証券コード 6199)、以下「当社」）は、6月1日(水)に、東京大学大学院医学系研究科と共同で社会連携講座^{※1}「デジタルメンタルヘルス講座」(英文名 Department of Digital Mental Health)を設置しました。研究で得られた成果については、当社にて運営中のデジタルヘルスケアサービス「バイタルプログラム」の機能拡充や品質向上に繋がることを期待するとともに、喫緊の社会課題となっているメンタルヘルスケアの問題を解決する一助となるべく、公共に還元をしております。

※1 「社会連携講座」とは、公共性の高い共通の課題について、共同して研究を実施しようとする民間等外部の機関（国立研究開発法人を除く）から受け入れる経費等を活用して、学部や研究科などの教育研究を行う機関に設置される講座をいう。

1. 講座概要

設置期間は2022年6月1日～2025年5月31日（3年間）です。本講座は東京大学大学院医学系研究科に設置され、川上憲人特任教授、今村幸太郎特任准教授を含む3名体制で実施されます。インターネットなどのデジタル技術を応用して精神健康を測定し、その保持・増進を支援する介入プログラムを提供する「デジタルメンタルヘルス」技術とこれを用いたサービスについて基礎および応用研究を実施し、人々の精神健康の向上に役立つ研究成果を発信することを通じて社会に貢献します。また研究成果をもとに、医学教育にも貢献します。本社会連携講座では特に職場のメンタルヘルス対策や健康経営における心の健康づくりにデジタル技術を応用するための研究を行います。労働者の心の健康に関して デジタルメンタルヘルスを専門に研究する大学内の研究室の設置は世界ではじめてです。

2. 本講座の研究内容

心の健康は、個々人および企業・組織、社会にとって重要な課題です。特に新型コロナウイルス感染症の世界的な流行下（コロナ禍）では、心の健康問題が大きな公衆衛生上の課題となりました。ポストコロナ社会においては、労働者や地域住民の心の健康をインターネットなどのデジタルツールで支えてゆくための「デジタルメンタルヘルス」の技術の開発が重要になります。

本講座の主な研究内容は以下の通りです。

- ① AI やシミュレーション等のデジタル技術を応用したデジタルメンタルヘルスの手法を研究する。例えば、精神健康の測定や将来予測の方法論を開発する、またAIが支援し、個人の属性に合わせて完全自動化されたテイルード・ストレスマネジメント介入プログラムを開発する。
- ② デジタルメンタルヘルスによる精神健康の測定方法の精度管理や介入プログラムの効果の科学的な評価のための研究を行う。精神健康の測定方法の開発手順、精度管理を世界標準の基準に基づいて検証する手順を確立し、これを実際の測定方法に応用する。介入プログラムの効果をランダム化比較試験などにより検証する。
- ③ デジタルメンタルヘルスの測定や介入プログラムを、個人、企業・組織、自治体などで普及・実装するための効果的な戦略を調査研究により明らかにする。またデジタルメンタルヘルスのサービスの品質保証の枠組みを研究する。

これ以外にもデジタル社会、「Society5.0」社会における心の健康について幅広く研究します。

3. 今後の展望

講座を設置することにより期待される成果として以下があげられます。

- ① AI やシミュレーションを応用した革新的なデジタルメンタルヘルスの手法が開発され、個人や企業・組織で広く利用されることで、人々の心の健康の増進につながる。
- ② デジタルメンタルヘルスの測定方法や介入プログラムの効果について科学的なエビデンスが蓄積され、根拠や効果のあるサービスが確立できる。
- ③ デジタルメンタルヘルス測定や介入プログラムの普及・実装の戦略が明らかになり、またその品質保証の枠組みを社会に提案することができる。

4. 講座設置記念オンラインイベントの開催

以下の要領で、「デジタルメンタルヘルス講座」の設置を記念してオンラインイベントを開催します。

日時：2022年7月5日（火）13:30-14:45

場所：ZOOMによるオンラインミーティング（参加定員300名）

参加者：デジタルメンタルヘルスに関心のある企業の人事労務担当者、産業保健スタッフ、研究者、学生などなたでも参加いただけます。

プログラムの詳細および参加方法はデジタルメンタルヘルス講座ウェブサイトをご覧ください。

<https://dmh.m.u-tokyo.ac.jp/>

■ 川上憲人特任教授について

川上憲人 特任教授（医師・医学博士）

東京大学前教授。公衆衛生学の出身で、主な研究分野は、職場のメンタルヘルス、精神保健疫学、行動医学など。職業性ストレスに関する研究、地域住民の精神保健疫学研究を中心とし、幅広い研究活動を行っている。

■ 株式会社セラクについて

株式会社セラクは、IT 技術教育(人材育成)によりビジネスを創造し、社会の発展に貢献する IT 企業です。IoT/AI/サイバーセキュリティ/RPA などの先進技術で企業のデジタル化を支援するデジタルトランスフォーメーション事業(Dx 事業)、企業の IT インフラや IT システムを支えるシステムインテグレーション事業(SI 事業)と、農業 IoT サービス「みどりクラウド」、デジタルヘルスケアサービス「バイタルプログラム」を提供しています。

■ セラクのデジタルヘルスケアサービス「バイタルプログラム」について

社員の健康パフォーマンスを可視化し、「社員の健康増進」「健康経営の推進」「組織の生産性向上」に役立てることができる法人向けクラウドサービスです。利用者は簡単な健康アンケートを実施いただくことで、個人/組織のメンタルヘルス状況を簡単に可視化できます。現在はベータ版を試験運用しております。

バイタルプログラム サービスサイト

<https://vital-program.net/info>

■ 本件のお問い合わせ先

株式会社セラク 経営戦略室 広報/IR 担当

TEL:03-3227-2321